



Kawasaki Robot e-News はカワサキロボットのお客様に有益な情報やホットな話題を提供する隔月の電子情報誌です。

IMTEX2012 初出展

インド国内最大規模の工作機械展示会『IMTEX2012』が、1月19日～24日にインドのバンガロールで開催され、現地代理店 AMC とともに、カワサキロボットとして初出展しました。

出展企業 500 社以上、海外からの出展比率が約 50%。6 日間の展示で、推定 60,000 人以上の来場者をおぼえ、現在のインドビジネスを象徴する展示会となりました。

当社は、インド国内でバイクメーカーとしての認知度を生かし、今回モータサイクル・エンジンカンパニーの支援の下、Ninja1000 の周りに 3 台のロボットを配置したデモを行う展示内容としました。燃料タンクをペイントする塗装ロボット KF193。フレームを溶接する新型アーク溶接ロボット RA10N。そして、最新のスポット溶接ロボット BX200L。多くの来場者の注目を集め、展示会中に発行された NEWS LETTER でも取り上げていただくことができました。また、具体的な引き合いも総数 150 件を超える盛況ぶりとなり、あらためてインドビジネスの広大さを感じました。

群雄割拠するインドビジネスにおいて、ひとつでも多くの受注を獲得するため、AMC 現地ローカルスタッフとともに、インド国内を駆け巡る日々が続きます。



韓国川崎マシシステム(株)の紹介

当社は韓国に産業用ロボットの販売及びサービスを目的にして 1999 年 6 月に設立されて、同年 7 月から業務を開始しました。本社は仁川で、各地域にサービスセンターを運営しています。

2011 年度には 2000 年度からロボット販売台数、売上を 4 倍に伸ばして韓国国内市場でのロボットメーカーとしての存在感を年々高めています。

当社が現在力を注いでいる主要顧客は自動車メーカー及び自動車部品、一般産機分野、半導体及びクリーン分野などで、ロボット単体及びロボットによるシステム製品を供給しています。

また韓国自動車メーカー及び電子産業の生産拠点のグローバル化が進み、各現地法人の生産ラインにロボット設備を供給することで、同時に新しい国へ進出する努力もしています。

当社の現在の構成員は日本からの出向者 2 人、日本語の可能な韓国人 20 人になってきています。管理、営業、技術、品質保証、サービスなど各自の業務に最善をつくしながら会社とともに成長を目指しています。

川崎重工業が韓国ロボット市場に進出してからもう 22 年になりました。その間韓国川崎マシシステム(株)という名前の下 13 年間韓国ロボット市場で他のロボットメーカーと競争しながら営業活動を続けて来たのですが、変化する市場環境に迅速に対応するためには顧客ともう少し近付いて彼らが必要とする産業用ロボットのすべてを供給できるように最善の努力をして行き、10 年後更に顧客に近付けられるようにがんばっていきます。



グローバルサービス会議

第 7 回グローバルサービス会議を、全世界(ドイツ、アメリカ、韓国、中国、タイ、インド、台湾、7ヶ国)のサービス担当日本人駐在員全員と国内サービス部門の主要メンバーが出席して、2月8日から3日間開催しました。

グローバル規模でのサービス技術向上を目標にしたスキルアップ活動の展開について活発な議論がなされ、国内サービスが中心となってグローバル規模での教育を計画・実行していくことになりました。

また、毎年恒例になりましたサービス改善活動発表会がグローバルサービス会議の日程に合わせて開催され、全世界から集まった Kawasaki サービスに携わるメンバーも、来賓として発表会に参加しました。顧客密着型サービスを展開し今年度の活動実績が評価された、九州・広島 RSC チームの「傾向管理点検の内容改善」が優秀賞に輝きました。

今年度まで国内チームだけが参加した国内大会でしたが、来年度以降は海外チームの参加も奨励して全世界大会としていきます。サービス改善活動発表会もグローバル展開していきます。



川崎重工業 (株) ロボットビジネスセンター
〒673-8666 兵庫県明石市川崎町 1-1
電話 (078)921-2946 Fax (078)923-6548



(株) カワサキマシシステムズ
関東支店(03)5807-7171 中部支店(0561)63-6800
関西支店(078)921-1551 広島支店(082)286-1711



URL: www.khi.co.jp/robot/